

この度は、統合開発環境 CubeSuite+をご使用いただきまして、誠にありがとうございます。

この添付資料では、本製品をお使いいただく上での制限事項および注意事項等を記載しております。ご使用前に、必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

目次

第 1 章	対象デバイスについて	2
第 2 章	ユーザーズ・マニュアルについて	5
第 3 章	アンインストール時の選択キーワード	6
第 4 章	注意事項	7
4.1	注意事項一覧	7
4.2	注意事項詳細について	8
4.2.1	UARTAまたはUARTCのLIN・bus機能対応について	8
4.2.2	USBファンクション機能対応について	8
4.2.3	IICの拡張コード、マルチマスタ、ウエイク・アップ機能対応について	8
4.2.4	IICのスレーブ送信時の注意	8
4.2.5	イーサネット・コントローラ機能対応について	9
4.2.6	IEBusコントローラ機能について	9
4.2.7	CANコントローラ機能について	9
第 5 章	制限事項	10
5.1	制限事項一覧	10
5.2	制限事項詳細	10
5.2.1	MISRA-Cのコーディング規約対応について	10
第 6 章	ドキュメント訂正	11
6.1	V850 設計編のドキュメント訂正事項	11
6.1.1	コード生成機能の特徴に関する説明変更	11

第1章 対象デバイスについて

V850 コード生成がサポートする対象デバイスに関しては、以下の通りです。

V850ES/Jx3 用コード生成 V1.00.01 がサポートするデバイス一覧	
愛称	デバイス名
V850ES/JG3	μPD70F3739, μPD70F3740, μPD70F3741, μPD70F3742
V850ES/JJ3	μPD70F3743, μPD70F3744, μPD70F3745, μPD70F3746
V850ES/JC3-L	μPD70F3797, μPD70F3798, μPD70F3799, μPD70F3800, μPD70F3838, μPD70F3801, μPD70F3802, μPD70F3803, μPD70F3804, μPD70F3839
V850ES/JE3-L	μPD70F3805, μPD70F3806, μPD70F3807, μPD70F3808, μPD70F3840
V850ES/JF3-L	μPD70F3735, μPD70F3736
V850ES/JG3-L	μPD70F3737, μPD70F3738, μPD70F3792, μPD70F3793 μPD70F3794(USB), μPD70F3795(USB), μPD70F3796(USB)
V850ES/Jx3 用コード生成 V1.00.01 の設計資料	
資料名	資料番号
V850ES/JG3 ユーザーズ・マニュアル	U18708JJ2V0UD00
	U18708EJ2V0UD00
V850ES/JJ3 ユーザーズ・マニュアル	U18376JJ3V0UD00
	U18376EJ3V0UD00
V850ES/JF3-L ユーザーズ・マニュアル	U18952JJ2V0UD00
	U18952EJ2V0UD00
V850ES/JG3-L ユーザーズ・マニュアル	U18953JJ5V0UD00
	U18953EJ2V0UD00

V850ES/Jx3-E 用コード生成 V1.00.01 がサポートするデバイス一覧	
愛称	デバイス名
V850ES/JH3-E	μPD70F3778, μPD70F3779, μPD70F3780, μPD70F3781, μPD70F3782, μPD70F3783
V850ES/JJ3-E	μPD70F3784, μPD70F3785, μPD70F3786
V850ES/Jx3-E 用コード生成 V1.00.01 の設計資料	
資料名	資料番号
V850ES/JH3-E, V850ES/JJ3-E ユーザーズ・マニュアル	U19601JJ2V0UD00
	U19601EJ2V0UD00

V850ES/Jx3-H 用コード生成 V1.00.01 がサポートするデバイス一覧	
愛称	デバイス名
V850ES/JC3-H	μPD70F3809, μPD70F3810, μPD70F3811, μPD70F3812, μPD70F3813 μPD70F3814, μPD70F3815, μPD70F3816, μPD70F3817, μPD70F3818, μPD70F3819
V850ES/JE3-H	μPD70F3820, μPD70F3821, μPD70F3822, μPD70F3823, μPD70F3824, μPD70F3825
V850ES/JG3-H	μPD70F3760, μPD70F3761, μPD70F3762, μPD70F3770
V850ES/JH3-H	μPD70F3765, μPD70F3766, μPD70F3767, μPD70F3771
V850ES/Jx3-H 用コード生成 V1.00.01 の設計資料	
資料名	資料番号
V850ES/JC3-H, V850ES/JE3-H ユーザーズ・マニュアル	U20153EJ1V0UD00
V850ES/JG3-H, V850ES/JH3-H ユーザーズ・マニュアル	U19181JJ3V0UD00
	U19181EJ3V0UD00

V850ES/Sx3-H 用コード生成 V1.00.01 がサポートするデバイス一覧	
愛称	デバイス名
V850E/SJ3-H	μPD70F3474, μPD70F3475, μPD70F3476, μPD70F3477, μPD70F3478, μPD70F3479, μPD70F3931, μPD70F3932, μPD70F3933, μPD70F3934, μPD70F3935, μPD70F3936, μPD70F3937, μPD70F3938, μPD70F3939
V850E/SK3-H	μPD70F3480, μPD70F3481, μPD70F3482, μPD70F3486, μPD70F3487, μPD70F3488, μPD70F3925, μPD70F3926, μPD70F3927
V850ES/Sx3-H 用コード生成 V1.00.01 の設計資料	
資料名	資料番号
V850ES/Sx3-H ユーザーズ・マニュアル	U19201JJ3V0UD
	U19201EJ2V0UD

第2章 ユーザーズ・マニュアルについて

本製品に対応したユーザーズ・マニュアルは、次のようになります。本文書と合わせてお読みください。

マニュアル名	資料番号
CubeSuite+ V1.00.00 V850 設計編	R20UT0549JJ0100
CubeSuite+ V1.00.00 メッセージ編	R20UT0407JJ0100

第3章 アンインストール時の選択キーワード

本製品をアンインストールする場合は、2つの方法があります。

- ・ 統合アンインストーラを使用する(CubeSuite+自体をアンインストールする)
- ・ 個別にアンインストールする(本製品のみをアンインストールする)

個別にアンインストールを行なう場合、コントロールパネルの

- ・ 「プログラムの追加と削除」(WindowsXP の場合)
- ・ 「プログラムと機能」(Windows Vista, Windows 7 の場合)

から、「CubeSuite+ Code Generator for V850」を選択してください。

第4章 注意事項

本章では、V850 コード生成 の注意事項について説明します。

4.1 注意事項一覧

No.	内容	該当するコード生成			
		V850ES/JX3 V1.00.01	V850ES/JX3-E V1.00.01	V850ES/JX3-H V1.00.01	V850E/Sx3-H V1.00.01
1	UARTAまたはUARTCのLIN-bus機能対応について	○	○	○	○
2	USBファンクション機能対応について	○	○	○	/
3	IICの拡張コード、マルチマスタ、ウエイク・アップ機能対応について	○	○	○	○
4	IICのスレーブ送信時の動作について	○	○	○	○
5	イーサネット・コントローラ機能対応について	/	○	/	/
6	IEBusコントローラ機能対応について	/	/	/	○
7	CANコントローラ機能対応について	/	○	○	○

○ : 対象項目, / : 機能対象外

4.2 注意事項詳細について

4.2.1 UARTAまたはUARTCのLIN-bus機能対応について

コード生成は、UARTAまたはUARTCのLIN-bus機能に対応していません。

4.2.2 USBファンクション機能対応について

コード生成は、USBファンクション機能に対応していません。

4.2.3 IICの拡張コード、マルチマスタ、ウエイク・アップ機能対応について

コード生成は、シリアル・インタフェースIIC0の拡張コード、マルチマスタ、ウエイク・アップ機能に対応していません。

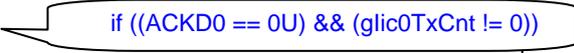
4.2.4 IICのスレーブ送信時の注意

スレーブ送信時にマスタ受信が最終データ受信後にACKを返さない場合、実際のスレーブ送信処理が終了していてもエラーAPIのIICn_SlaveErrorCallback(MD_NACK)がコールされます。そのため、プログラムが正常終了しません。

【回避策】

通信相手のマスタが最終データ受信後にACKを返さない場合はIICn_SlaveHandler内を下記のように変更してください。(最終データ送信後にACKをチェックしないようにします。下図はシリアル・インタフェースがIIC0の場合)

```
void IIC0_SlaveHandler(void)
{
    ...
    if (TRC0 == 1U)
    {
        if (ACKD0 == 0U)
        {
            IIC0_SlaveErrorCallback(MD_NACK);
        }
        else
        {
            if (glic0TxCnt > 0U)
            {
                IIC0 = *gplic0TxAddress;
                gplic0TxAddress++;
                glic0TxCnt--;
            }
            else
            {
                IIC0_SlaveSendEndCallback();
                WREL0 = 1U;
            }
        }
    }
}
```



4.2.5 イーサネット・コントローラ機能対応について

コード生成は、イーサネット・コントローラ機能に対応していません。

4.2.6 IEBusコントローラ機能について

コード生成は、IEBusコントローラ機能に対応していません。

4.2.7 CANコントローラ機能について

コード生成は、CAN機能に対応していません。

第5章 制限事項

本章では、V850 コード生成 の制限事項について説明します。

5.1 制限事項一覧

No.	内容	該当するコード生成			
		V850ES/JX3 V1.00.01	V850ES/JX3-E V1.00.01	V850ES/JX3-H V1.00.01	V850E/SX3-H V1.00.01
1	MISRA-Cのコーディング規約対応について	○	○	○	○

○ : 対象項目, / : 機能対象外

5.2 制限事項詳細

5.2.1 MISRA-Cのコーディング規約対応について

コード生成から出力されるソース・コードは、自動車向け組み込みC言語用ガイドラインMISRA-Cのコーディング規約に対応していません。

第6章 ドキュメント訂正

本章では、CubeSuite+のドキュメントの訂正について説明します。

また、Help にも同様の内容が記載されておりますので、ドキュメントと同様に読み替えてください。

6.1 V850 設計編のドキュメント訂正事項

V850 設計編（資料番号：R20UT0549JJ0100）のドキュメントの訂正について説明します。

6.1.1 コード生成機能の特徴に関する説明変更

- 【場 所】 10 ページ
- 【変更前】 - なお、コード生成から出力されるソース・コードは、自動車向け組み込み C 言語用ガイドライン MISRA-C のコーディング規約に対応したものとなっています。
- 【変更後】 - なお、コード生成から出力されるソース・コードは、自動車向け組み込み C 言語用ガイドライン MISRA-C のコーディング規約に対応する予定です。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続きを行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



ルネサスエレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所・電話番号は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2（日本ビル）

(03)5201-5307

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/inquiry>